

びかいのトラ



【特集】市民インタビュー
もっと住みやすい街に
住民生活を支える担い手
はねさんきょう
羽三協

No.148

令和6年(2024年)
11月1日発行
(通巻257号)

- 市民インタビュー P2
- 令和5年度決算審査 P4
- 審議した主な議案
市長提出議案 P10
- 議案の議決結果 P12
- 市政について問う
《一般質問》 P14
- 議会からのお知らせ
タウンミーティングを
開催します P22
- 議会活動報告 P23

も

つと住みやすい街に

住民生活を支える担い手

羽三協
はねさんきょう

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は環境まちづくり委員会が担当しました。

【表紙の写真】（令和6年8月撮影）
大型重機の前で作業着姿の羽三協の皆さん

羽三協は市内の建設業（羽村市指定上下水道工事店組合、羽村市電気工事業組合、羽村市建設防災協力会、その他）の有志26社で組織。会員相互の親睦と技術向上、福祉の増進を図り、地域に貢献することを目的としています。

羽三協とは

並木 功真さん（会長）

（鉄工・上下水道工事業・72歳）



市内の上下水道、電気、土木・建設業者の協力団体で

す。会員はふだん個別で仕事をしています。以前は、はむら夏まつりに武者行列で参加していました。今は、「はむら市民と産業のまつり」で、親子向けの射的コーナーを開設し、売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付するなど、住民とのつながりを大切にしています。

家業は、上下水道工事を行う、並木鉄工所の3代目。住民生活に欠かせない給・排水設備を設計・施工する仕事をしています。

住民生活を支える

皆さんの仕事は

丸山 千春さん

（上下水道工事業・40歳）



私は並木の娘で、父の仕事の間近で見て育ちました。

結婚後も父に指導を受けながら、配管工事などを手伝っています。



◀はむら夏まつりの武者行列



▲はむら市民と産業のまつりでは射的ゲームが人気

井上 英章さん

(1級土木施工管理技士・54歳)



東京都や羽村市の道路、河川、上下水道等の工事を請

け負う株式会社村尾重機の工事部長です。会社は三多摩管工事協同組合にも加入し、能登半島地震の災害復旧支援で社員が2週間、上水道の復旧作業をしてきました。

黒山 瞳さん (建設管理・23歳)



身近に建設業に携わる者があり、この業界に興味を持ち

ました。入社3年目で、井上部長の下で施工管理などを行っています。社内の制度を活用し、バックホーなど重機の運転資格を取るため勉強中です。

天野 篤さん

(電気・消防設備工事・48歳)



電気、空調、消防設備などの工事を行う、株式会社セ

イシヨウの取締役です。社員には、様々な資格取得を支援しています。資格取得により、それぞれ業務範囲を広げています。

山田 幸奈さん

(消防設備工事・保守・37歳)



株式会社セイシヨウの社員です。消防設備士の資格を持

ち、火災報知機や消火栓の保守点検が仕事です。公共施設や住宅などに設置される火災報知機等の点検をしています。

仕事のやりがい

黒山 都道の工事で初めて現場管理を経験。トラブルもなく無事に完了して住民から「ありがとう」と言われたのが、嬉しかったです。

国家資格の2級土木施工管理技士を取得すれば工事現場監督ができるので、勉強中です。

天野 第二種電気工事士など資格を得ることで給与に反映します。

大手を目指す若者が多いですが、中小企業だからこそできる体験を通して技術を身につけることができます。

井上 働き方改革の影響もあり、今は週休2日で労働条件も改善。

自身の働きで住民生活が向上する達成感がこの仕事の魅力です。

山田 公共施設やオフィスなどで、女性しか入れない部屋もあります。

そんな時、「女性の点検員でよかった。」と感謝されることもたびたびです。

丸山 一般家庭での作業が多く、女性も行くことで、「並木さんに頼んでよかった」と喜んでいただ

けるのが、やはり嬉しいですね。

市民が困ったときの業者探しは

並木 ふだんは縁のない工事業者だからわかりにくいでしょう。困

りの際は、市の住宅建築なんでも相談や商工会に問い合わせてくだ

羽三協

※目的 会員相互の親睦、技術向上、福祉の増進を図り、災害に対し一致協力して地域に貢献すること

※加盟要件 羽村市指定上下水道工事店組合、羽村市電気工事業組合、羽村市建設防災協力会のいずれかの会員もしくはその他の建設業

※会員事業所 26社

※連絡先

555-6211(羽村市商工会内)

インタビューを終えて

半年ほど前、水道メーター検針で漏水が見つかり、水道業者名簿の中から電話をしたらすぐ来て修理をしてくれた。水道料金減免の手続き方法も教えられ、地元業者の有難さを実感。気候変動で災害も頻発しているだけに市内業者、羽三協の存在は心強く思った。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

さい。市内の指定業者などを紹介してくれるので、そこから選べると思います。その後のメンテナンスも近隣ならすぐに対応できます。

今後の課題、展望を

井上 資材費や人件費の高騰、働き手不足など事業所の課題は山積みです。一方で、私たちも経験を積むことで技術を成長させてきました。IT化で重機の無人操縦やドローンなども利用することになると若者の知識も必要になってきます。両者の知恵や協力により、また、羽三協の中でも情報共有など今後も協力しながら、羽村をより住みやすい地域に発展させたいと思います。

三つの投資に重点を置いた

決算を認定

9月18日～20日の3日間にわたり、令和5年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。(馳平耕三委員長、山崎陽一副委員長)

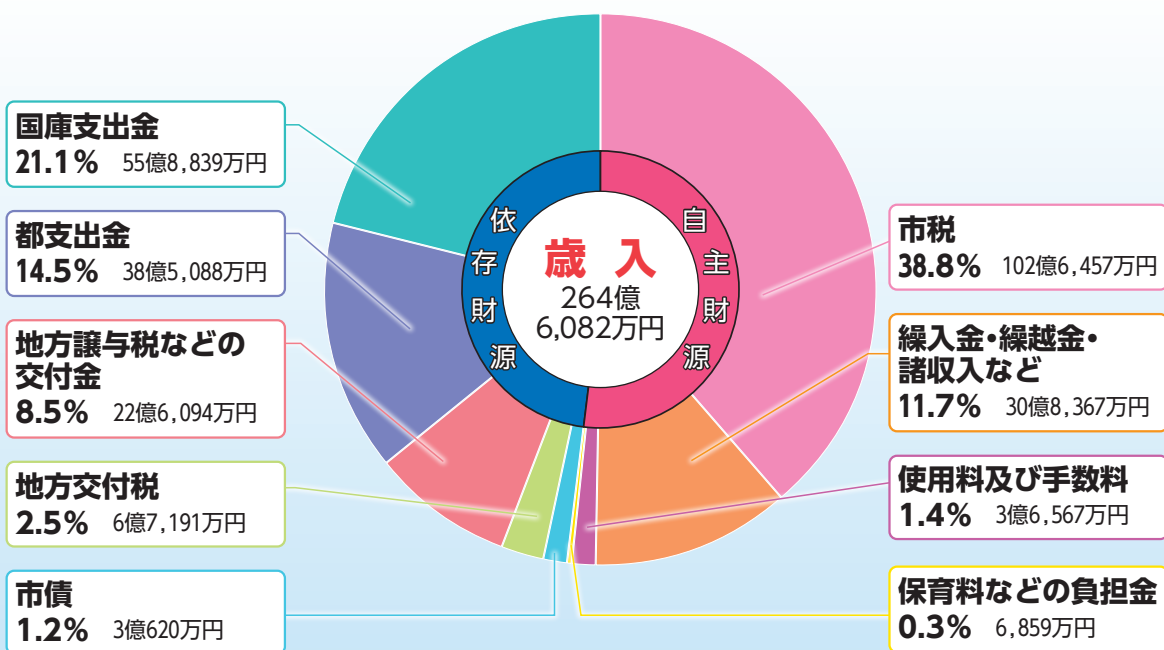
市長から提出された前年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算の認定に係る議案を審査し、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。

審査結果を9月27日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。
特別委員会での審査の概要をお知らせします。

一般会計

経常収支比率 **98.5%** (前年度比2.9ポイント↑)

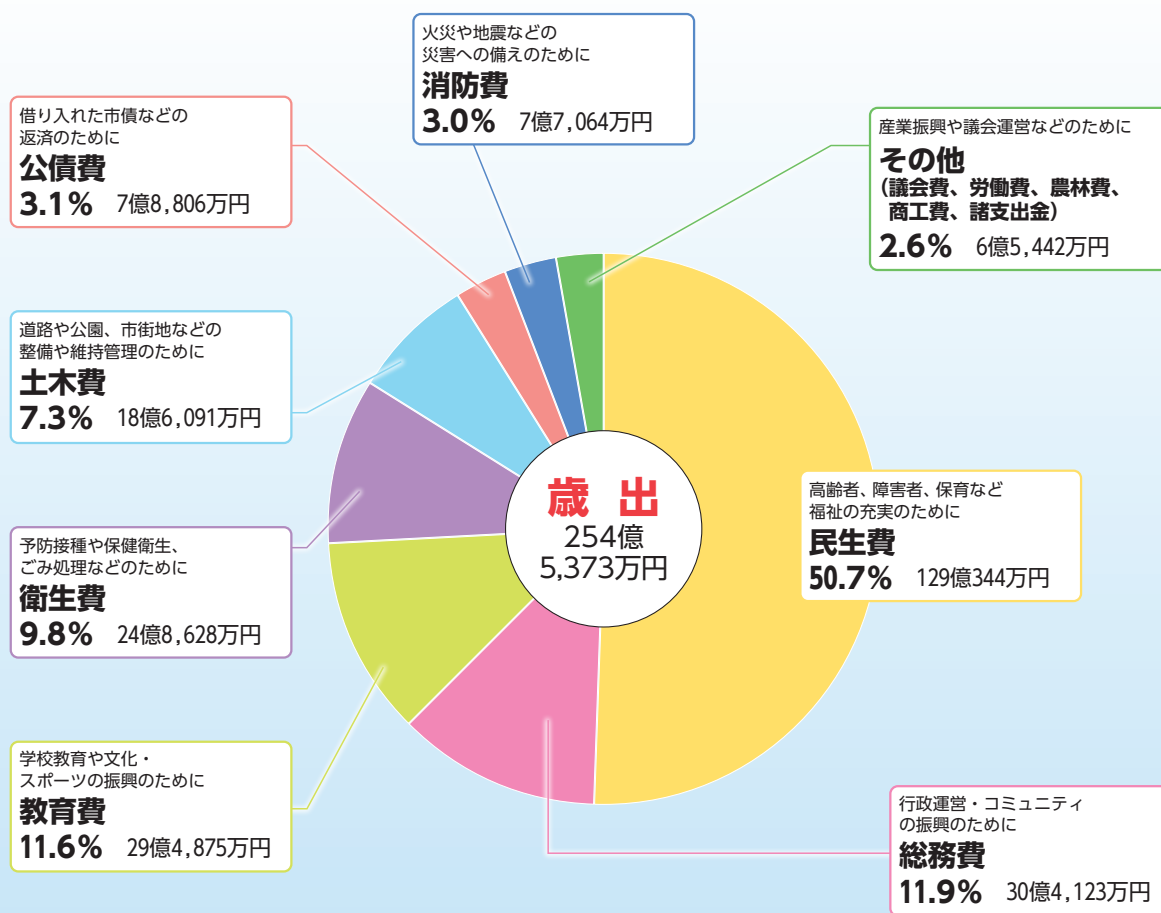
市税等が減少し歳入が前年度より減少した一方
社会保障費等の増加で歳出は増



令和5年度会計別決算状況

(単位：万円)

区 分		予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に 対する歳入の 割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に 対する歳出の 割合)	歳入歳出 差引額
一般会計		2,685,953	2,646,082	98.5%	2,545,373	94.8%	100,709
特別会計	国民健康保険事業	604,331	590,615	97.7%	569,249	94.2%	21,366
	後期高齢者医療	153,164	153,456	100.2%	151,363	98.8%	2,093
	介護保険事業	424,774	421,154	99.1%	414,674	97.6%	6,480
	羽村駅西口土地区画整理事業	159,583	126,397	79.2%	116,569	73.0%	9,828



監査委員からの審査意見

決算の認定にあたっては地方自治法に基づき、監査委員からの審査意見が付されています。



左：渡辺 晃 代表監査委員
右：中嶋 勝 監査委員（議員選出）

それぞれの歳入歳出決算書、付属書類が法令に準拠して作成されているか、予算の執行は適切だったかなどを審査しました。

- 意見①** 内部統制制度の取組を評価する。更に有効なものになるよう、レベルアップを。
- 意見②** 市民・事業者・議会が現状を共有し、厳しい財政状況を乗り越えていく取組を。
- 意見③** 公共施設の老朽化に伴う施設維持費が年々増加し、財政を逼迫している。
市民への丁寧な説明を続け、市民が納得できる公共施設の在り方の模索を。
- 意見④** 市役所の各部・課の業務内容等の拡大・複雑化が増している。
人材育成に注力し、ワークライフバランスを大切にした働き方改革の具現化を。

委員の質疑

一般会計歳入

Q 国の法人税は好調だったが、市民税法人分が低調な理由は。

A 製造業を中心に、市内の企業の業績が低調だったためである。

Q ふるさと納税の影響額は。

A 市民が他自治体へふるさと納税したことによる市民税の減収額は1億3040万7000円。ふるさと納税で減収した市民税の75%は地方交付税で措置される。

Q 令和5年度から開始した企業版ふるさと納税の寄付額は。

A 260万円である。

Q 東京都市町村総合交付金の算定項目の一つの「経営努力割」が、前年度比で減額となった理由は。

A 他の自治体と比較して配分の金額が決まる仕組みであり、令和5年度は順位が落ちたため。

Q 不納欠損額が4261万1690円もあるのはなぜか。

A 高額滞納金額事案が完結し、また、滞納整理のDX化で、早期に徴収不能と判断ができたため。

一般会計歳出

行財政

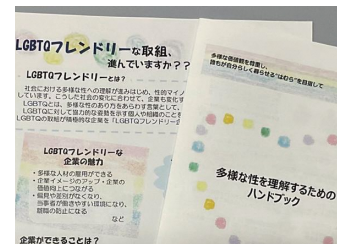
Q 「子供たち」「市民の安全・安心対策」「行政のデジタル化」の3つの投資に重点を置いた予算だった。予定通り執行できたとの考えか。

A 旧自然休暇村の取壊し工事など、令和6年度に繰り越した事業もあるが、概ね予定通りに執行できたと捉えている。

Q 公共施設総合管理計画で、建築物の総量を30%削減することが目標だが、市民への周知は。

A 公共施設の現状や今後の目標、取組について動画を交えてわかりやすく周知を行っている。

Q 多様な性に関する意識啓発として配布したリーフレットの内容は。



LGBTQに関するリーフレット



YouTubeで配信している公共施設マネジメントの動画



リニューアルした市公式PRサイト「羽やすめ」の市PRショップカード

A 多様な性に関する基本事項や企業ができることなどを記載しており、周知啓発に努めている。

Q 令和5年8月採用の職員採用試験から申込み方法の簡略化と試験内容を見直したが、効果は。

A 令和5年度採用の応募者数は127人だったが、令和6年度採用では335人と、増加した。

Q 超過勤務が市職員の一部に偏っているのではないか。

A 部署ごとの状況を見ると、特定の部署が継続して超過勤務をしているわけではない。事業の実施状況等で毎年変化している。

Q 入札契約件数と平均落札率は。

A 制限付一般競争入札は3件、94・2%、指名競争入札は84件、94・4%、随意契約は242件、83・7%、特命随意契約は338件、99・6%。合計667件96・1%。

安全・安心

Q 令和5年度に羽村市史本編上巻を刊行した。販売価格の根拠は。

A 1部あたりの単価は4334円だが、既刊の資料編と同価格にすることで、多くの方に読んでいただけるよう2000円とした。

Q 市公式PRサイトを「羽やすめ」として全面リニューアルしたが、アクセスしやすくなる環境づくりへ意見聴取は。

A 家族写真撮影会の際にアンケートや意見交換を行っている。今後も意見や要望などを反映し、より良いものとしていく。

Q 街路照明のLED化率とLEDによる電気の削減効果は。

A 約80%。年間で約180万円削減できていると捉えている。

Q 消防団員の準中型自動車免許取得補助の実績は。

A 免許取得まで終え、補助した団員は1人である。

Q 外来生物捕獲の内容は。

A 市民からの情報提供後、現地調査や、わなの設置を行う。捕獲した場合は、その回収や処分を行っている。

福祉・健康

Q 公的支援を認知していない人もいる。生理用品の無償配布への周知方法を考えたか。

A 広報はむら、市公式サイト、X(旧Twitter)、メール配信サービスや公共施設のポスター掲示も行い周知徹底を図った。

Q 子宮頸がんワクチンの接種状況、公費対象種類やその副反応は。

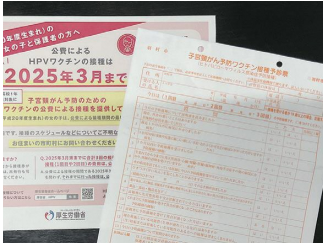
A 令和5年度の実績は589人。令和5年度から9価ワクチンが接種できる体制である。副反応等の報告は受けていない。

Q 新規に開始した、出産・子育て応援事業の伴走型相談支援である妊娠8か月児のアンケート送付数は。

A 132人に送付した。92人から返信があり、相談希望の方には担当地区の保健師等が対応した。



「女性の暴力追放月間」に行われている生理用品の無償配布



国が勧奨している子宮頸がんワクチンの予診票



はむら市民と産業のまつり

Q 高校生等医療費助成制度には所得制限があるが、世代の人数と制度の対象者はそれぞれ何人だったか。

A 1516人中1125人が対象となった。

Q 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへの構築に向けた協議の場の設置状況は。

A 精神障害に関する事例検討会を發展させ、実施した。就労等の様々な課題を取り上げ、意見交換や情報共有を行っている。

くらし

Q 農業振興に要する補助金・助成金が令和4年度と比較し、項目・金額ともに減となった理由は。

A 新型コロナウイルス感染症対策としての電力等価格高騰対策支援金などを令和5年度は予算計上

しておらず、執行額もないため。

Q 市道2002号線の無電柱化に向けた状況は。

A 現地の試掘調査と予備設計を実施した。

Q はむら市民と産業のまつりの参加者数は。

A 推定値で2日併せて11万人。

Q はむら市民と産業のまつりでアンケートを実施したが、方法は。

A 会場の来場者に任意でアンケートを取った。70%の方が好評との結果であった。

Q コミュニティセンターのエレベーターは現在使用中止だが、点検で不具合は発見されていたか。

A 定期点検段階では不具合は確認されなかった。その後、経年劣化等、様々な理由で突然停止した。

Q 令和5年度でエコアクションポイント事業を廃止した経緯は。

A 対象活動が限られていた。環境配慮活動は様々あり、広く取り組んでいただくPRに切り替えた。

教育

Q 1人1台端末の充実は。

A 自宅への端末の持ち帰りを進めた。学習支援ドリルの活用が図られたと考える。

Q 部活動の地域移行の取組は。

A 各種スポーツ団体や文化協会など29団体から地域移行への検討ができる可能性があるとの回答をいただいた。次年度以降、順次移行を進めたいと考えている。

Q スイミングセンターを活用した水泳授業を行ったが、学校のプールと比較し、費用での効果は。

A スイミングセンターは約608万円、学校プールは約141万円の経費がかかった。なお、武蔵野小学校のプールの修理には1900万円かかると見積もっている。

Q 学童クラブの入所申請をオンライン化したのが、結果は。

A オンラインの利用率は54.5%であり、好評との意見をいただいている。

Q 図書の宅配サービスの評価は。

A 一定のニーズは満たしていると評価しているが、引き続き利用周知を図っていく。



特別会計・公営企業会計

■国民健康保険事業会計

Q 短期証、資格証明書の発行状況は。

A 令和6年4月1日時点で、短期証は9世帯15人、資格証明書は17世帯23人である。

Q 国は令和2年度から繰入金に對しペナルティを課している。市は約9億5000万円を繰り入れているが、影響額は。

A 繰入金が増えたことによる保険者努力義務制度補助金の減額は、約109万円である。

■後期高齢者医療会計

Q 住所地特例に係る市区町村間の財政負担不均衡の是正に関する取組で、補助金交付金が減額している理由は。

A 国からの補助金が減額したためである。

Q 補助金が減額した理由は。

A 各都道府県の保険者が行っている事業等がポイント制になっており、ポイントの順位が低かった影響である。

■介護保険事業会計

Q 高齢者の見守り事業を締結している事業所数は。

A 30事業所である。

Q フレイル予防について、オンライン等の活用のかえは。

A 令和5年度までオンラインを活用し講習会を実施した。市公式サイトやYouTubeに動画を掲載しつつ、家から出ることも重要と考え、対面の活動を充実する。

Q フレイル予防事業をじゅらく苑に加え、いこいの里でも実施したが、成果は。

A ベーシック体操教室は173人、筋トレマシン教室は147人利用者が増加した。



いこいの里でも実施したベーシック体操教室

■羽村駅西口土地区画整理事業会計

Q 公社への委託費が減額した理由は。

A 移転棟数が減少したため全体の事業費も減額となり、これに伴う歳入、国庫補助金等も減額となった。

Q 借入金に東京都の市町村振興基金を活用する理由は。

A 区画整理事業の事業単位での貸し付けが可能であり、利率が半分で適用できているためである。

Q 補償費は一棟当たりいくらになるのか。

A 予算段階では、移転棟数17棟で、割り戻すと1棟当たり約4360万円。実績は、移転棟数9棟で、一棟あたり平均約3990万円となる。規模や構造等の違いで補償額に差が出ている。

■水道事業会計

Q 浄水場・水源関係の使用電力量と料金は。

A 電力量は244万4268キ

ロワットアワー、料金は5013万8942円である。

Q 水道管路更新計画に沿った配水管の改修の進捗は。

A 管種替えを7件、布設替えを1件行った。羽村駅西口土地区画整理事業の関係で先送りしたものもあるが、管種替えはすべて予定通り実施した。

■下水道事業会計

Q 雨水浸透施設設置助成が1件と少ないが、どのように取り組んだのか。

A 令和5年度から新たな取組として、市内のハウスメーカーに助成事業のチラシを置いてもらい、来客者に周知してもらうようにお願いした。また、はむら市民と産業のまつりでもPRを行った。

Q マンホールカードを郷土博物館と羽村市動物公園のみで配布している理由は。

A 市の観光スポットとして足を運んでいただき、市の認知度向上につなげるためである。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。
インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」
↓「令和5年度一般会計等決算審査特別委員会」

**賛成****行財政改革への取組を評価**

経常収支比率は90%台後半となり財政の硬直化が続いている。厳しい財政状況の中でも行財政改革に取り組み、第六次長期総合計画に沿って市政を進めたことを評価する。今後も新たな行財政需要の発生や経済変動に対処できるよう、また、市民サービスの低下を招かぬよう健全な財政運営に努めることに期待する。

<新国会>

反対**区画整理事業を見直すべき**

放課後子ども教室の回数増、学校施設の改修など、評価できる施策の前進があった。一方、羽村駅西口土地区画整理事業では、「検証」の結果が示されないうちに、新たな仮住まいの人を生む事業の進展を図り、問題だ。財政難を理由に市民サービスの削減がなされたが、まずは区画整理事業の見直しを第一に進めるべきだった。

<日本共産党>

賛成**地球温暖化対策などを評価**

市税収入が減少し厳しい財政状況だったが、出産・子育て支援事業、学童クラブや放課後子ども教室の充実、学校施設の計画的改修が進んだことを評価する。ゼロカーボンシティ宣言や市の事務事業の二酸化炭素削減を数値化したことなども評価できる。地球温暖化防止は緊急課題でありより一層の対策強化を望む。

<市民ネットワーク>

賛成**財政健全化への取組を評価**

感染症による制限が順次緩和された年となり、経常経費の削減、経常収支比率の改善へ、基本方針に基づいた施策を推進した。市の将来像の実現に向けた財政の健全化への取組みを評価する。経常収支比率は98.5%と依然として厳しい財政状況である。未来の羽村市に希望が持てるよう創意工夫を考えながら、質の高い行財政サービスに期待する。

<公明党>

賛成**更なる歳入確保の工夫を期待**

A I コールやSMS 催告等、徴収事務のDX化を進め、収納率の成果につなげたこと、企業版ふるさと納税等を導入して財源確保に取り組んだこと、経費の見直しや削減に努めながら、行財政運営に取り組んできたことは評価できる。厳しい財政状況が続いており、更なる歳入確保への創意工夫に努められることを期待する。

<双葉会>

賛成**様々な事業の実施を評価**

幼稚園や学童クラブの電子申請、スイミングセンターを活用した小学校水泳授業、コミュニティ・スクール導入、公園の指定管理者制度、コロナ後初となるはむら市民と産業のまつりの実施、行政のデジタル化など評価できる。厳しい財政状況の中、市民福祉の増進に寄与する事業内容と認められるため、賛成する。

<羽村市議会都民ファーストの会>

賛成**効率的な事業推進を期待**

羽村駅西口土地区画整理事業の推進を図りつつも、権利者に寄り添い、また、国庫補助金等の特定財源を有効活用することで、市の負担にも配慮したものとなっている。依然として厳しい財政状況下ではあるが、優先順位をつけ、計画的で効率的な事業推進に期待するとともに、魅力あるまちづくりとなることを望み賛成。

<新国会>

反対**事業の完了は不可能**

広い道路を造るため1000棟を取り壊す事業は必要性、実現性、住民合意が欠けており、大量のCO₂も発生させている。事業の完了は不可能。約14億円の予算の委託費は、決算で約4億円減額となった。4か年の実施計画最終年で207棟を移転予定が87棟に、委託費27億円を削減したことは理解するが、具体的な見直し案が見えない。

<世論>

一般会計**委員の討論**

●討論とは…本会議や委員会、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することです。

一般会計については、委員会で6件の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

特別会計**羽村駅西口土地区画整理事業会計**

なく、その他の会計は、全会一致で認定すべくと決定しました。